



平素は岐阜県博物館友の会活動に格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度の総会で亀山義比古会長の後任として友の会会長に就任することになり一年たちました。身にあまる重責ではありますが、これからも一専心、友の会の発展に全力を尽くし皆様のご期待に添うよう努力いたす所存です。

さて、2023年5月8日から、長かったコロナの3年間に変化が生じます。感染症2類からインフルエンザと同等の感染症5類に変わることにより次のような変更があります。

① 2類感染症と5類感染症の比較
下表のとおりです。

② マスク

個人の判断が基本となりますが、医療機関、高齢者施設、バスや電車に乗るとき、重症化リスクの高い高齢者・基礎疾患のある方・妊婦さんにはマスクが効果的です。



(出典:厚生労働省 資料から)

	2類感染症	5類感染症
発生动向	毎日全数把握・公表	定点評価(インフルエンザ並)
医療体制	限られた医療機関による特別な対応	幅広い医療機関(インフルエンザ並)
患者対応	法律に基づく入院、自宅待機要請 医療費公費支援 保健所が仲介	外出自粛要請はしない、 保健所関与なし 医療費1~3割自己負担 入院医療費、治療薬の費用を期限を区切り軽減
感染対策	法律に基づき行政が関与	個人・事業者の判断に委ねる
ワクチン	予防接種法に基づき無料で接種	予防接種法に基づき無料で接種

③ 療養期間(もしコロナ感染症にかかったら)

発症日を0日として5日間は外出を控えること。5日目に症状が続いていれば、症状が治まって二十四時間は外出を控えること

④ 5類感染症に移行するため、濃厚接触者と保健所から特定されることはありません。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行することになって、ゴールデンウィークの様子を伝えるニュースで見えるように一気に人流が増加しました。3年間もの間ソーシャルディスタンスとマスクによって固く閉ざされていた壁が取り外され、お祭りやスポーツ観戦が可能になり、マスクを外して大きな口を開けて表情豊かに笑う子供達を見るとうれしくなります。

また、WBCにおける日本チームの大谷翔平選手やメイトバー選手が引き起こした劇的な勝利は、日本人であることを誇らしく思う素晴らしい勝利でした。今、日本中が開放感に満ちあふれているようです。

さあ、必要な感染対策を講じながら、5月8日から「普通の病気」となったコロナと共存しながら新しい気持ちで再出発です。

「岐阜の祭り みんなのこころ粹^{いき}」の開催について

岐阜県博物館 学芸部 人文係 長野宜延

今年度の夏の特別展では、「岐阜の祭り みんなのこころ粹」と題して、岐阜県の祭りを取り上げた展示を開催します。

会期は7月7日(金)から9月3日(日)です。ちょうど、夏休みの期間と重なりますので、ぜひお子様も一緒に、家族でご覧になってはいかがでしょうか。

今回、展示の目玉として、国指定重要民俗文化財「高山祭 屋台」の一つ、「恵比須台」が140年ぶりに解体修理が行われるのに合わせ、その部品の一部、前面下部の「親子龍」の彫刻、背面中央部の「手長、足長像」の彫刻の実物を展示しています。飛騨の名工、谷口与鹿^{よろく}の渾身の作品である彫刻が、高山祭当日以外でご覧いただける機会はなかなかありません。

また、祭りにおいて曳かれる「山車」の模型も、十数体展示しています。サイズ感は違うものの、どの資料も手作りで精巧にできております。

ここ3年は、新型コロナウイルスの影響により、まつの開催、そのものが中止されたり、規模を縮小しての開催が余儀なくされてきました。

令和5年度に入ってようやく、コロナ禍以前の姿に戻りつつありますが、この3年ほど見られなかった祭



春の高山祭(山王祭) 恵比須台の一部 「親子龍」の彫刻

りの姿を改めて思い出していただくための手がかりとさせていただきたく思っております。是非、お越しください。

1 開催期間

令和5年7月7日(金)～9月3日(日)

9:00～16:30 休館日 原則月曜日(7月17日(月)は海の日のため、翌18日が休館日)

2 会場

岐阜県博物館 本館4階 特別展示室

3 関連事業

・講演会

令和5年7月30日(日)13:30～15:00

「古川祭の起し太鼓と屋台行事」

講師：本永義博氏(飛騨市教育委員会)

・学芸員等によるギャラリートーク

(隔週1回) 計3回



「八百津だんじり祭り」におけるだんじり模型

企画展紹介

岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界

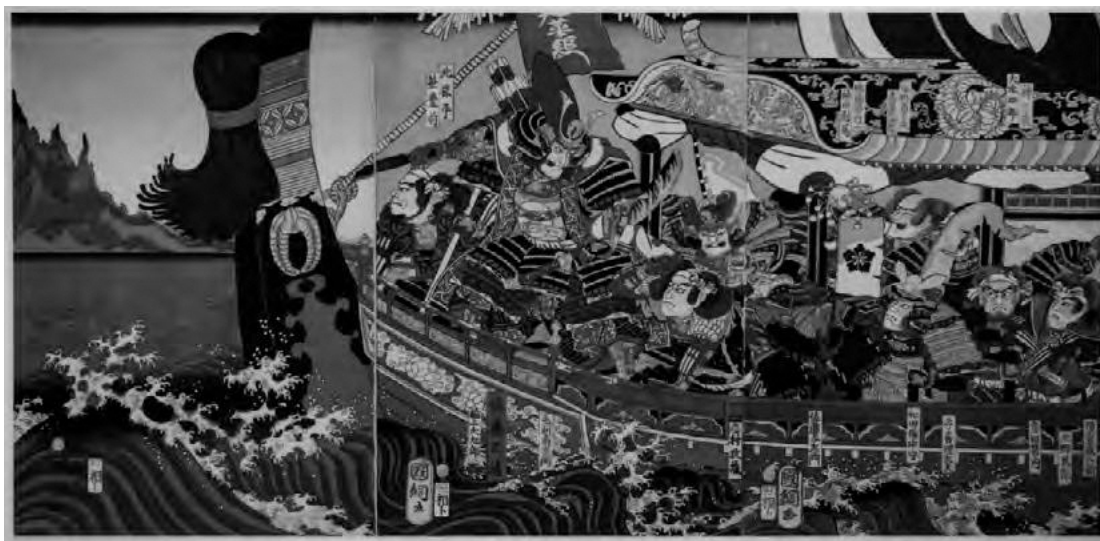
岐阜県博物館 学芸部 松井 絵里子

令和5年4月15日から6月11日まで「岐阜県博物館コレクション 錦絵からみた武士の世界」を開催しています。博物館では平成10年(1998)から錦絵の収集をはじめ、四半世紀となったことをうけ、収蔵された約250点の作品の中から、新たに所蔵した8点を含めた「武者絵」を前期(4月15日～5月14日)と後期(5月16日～6月11日)に分け、計38点展示しています。また、

関連講座として菅原真弓氏(大阪公立大学教授)による「描かれた日本の武将たち 錦絵「武者絵」の魅力」も開催され、いずれも好評を博しました。

今回の展示ポスターに使用したのが「佐藤正清軍配之図」(歌川国綱)で、佐藤正清(加藤清正)の朝鮮出兵の様子を描いた作品です。会期中に端午の節句を迎えたこともあり、豊臣秀吉の家臣として武功をあげた加藤清正を取り上げることで、来館者をはじめポスター等でこの錦絵をご覧になられた皆様の無病息災やご多幸を願う気持ちが込められています。

今後も博物館では錦絵を紹介する機会を設けていきますのでぜひご来館ください。



▲歌川国綱 「佐藤正清 軍配之図」

岐阜県博物館・図書館連携企画展

「岐阜の城館探訪Ⅱ ―最近の調査成果からみた岐阜の戦国―」

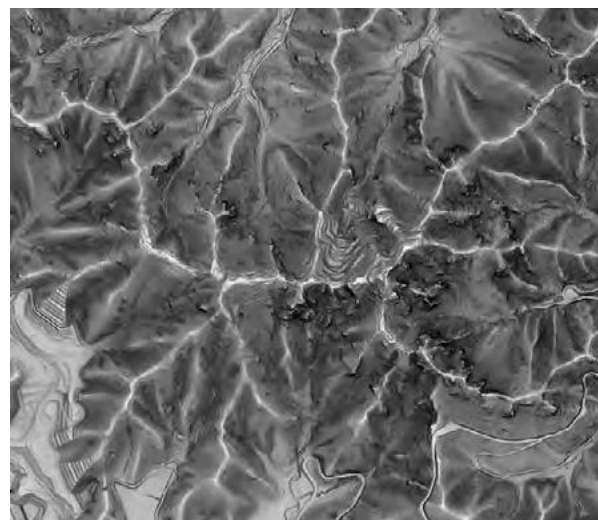
岐阜県博物館 学芸部 近藤 大典

岐阜県下における中世城館・近世城郭遺跡は、平成8年度から16年度まで実施された岐阜県中世城館跡総合調査によって、809ヶ所の城館と189ヶ所の城館跡参考地等が明らかになりました(『岐阜県中世城館総合調査報告書第4集』より)。一方、国指定、県指定、市町村指定の史跡を見ると、岐阜県下では古墳と並んで城館跡の指定件数が多く、地域の歴史をあらわす遺跡として大切に保護されていることがわかります。現在も、地域のシンボルとして保存し活用することを目指し、各地で調査研究が盛んにおこなわれています。

今回、特に国指定史跡を目指して調査研究が進められている城館跡から、姉小路氏城館跡(飛騨市)、大桑城跡(山県市)、篠脇城跡(郡上市)、松倉城跡(高山市)

を紹介し、また、時期ごとの県内城館の分布から城館が語る岐阜の戦国をふりかえります。

会期は、令和5年4月22日(土)から6月18日(日)までです。ぜひご観覧いただければと思います。



▲大桑城跡赤色立体地図(山県市教育委員会提供)

岐阜県博物館移動展・飛騨高山まちの博物館

夏の特別展「絶滅から救え！ ぎふの鳥ライチョウ」

岐阜県博物館 学芸部 説田 健一

ライチョウの企画展を飛騨高山まちの博物館で7月15日(土)から10月1日(日)まで開催します。まちの博物館が所蔵する飛州志^{ひしゅうし}には、延享^{えんきやう}元年(1744)に將軍(徳川吉宗)の命により乗鞍岳で雷鳥が捕獲された記録があり、雷鳥の図もあります。図は飛州志を記した代官^{はせがわただたか}の長谷川忠崇が描いたものですが、残念ながら、ライチョウには見えません(図1)。ところが、代官が描いた雷鳥の図を写したとされる絵図はライチョウそのものです(図2)。なぜ、このようなことになったのか不思議です。

ライチョウは本州の高山帯^{ひうちやま}(火打山、北アルプス、御嶽山、中央アルプス、南アルプス)で見られるキジのなかまで、県の鳥です。現在、絶滅の危機にあり、自治体、動物園、大学等の研究機関が協力して、さまざまな方法で保全活動が行われています。一度、絶滅した中央アルプス(長野県)では、北アルプス南部から飛来したと考えられるメスの発見をきっかけに、乗鞍岳に生息するライチョウの家族をヘリコプターで移送するなどの方法を組み合わせ、繁殖集団を再生させる取り組みが成功しつつあります。

今回の移動展では、ライチョウの標本や雷鳥の絵図など、岐阜県博物館と飛騨高山まちの博物館が所蔵するライチョウに関わる資料を数多く紹介します。この機会に、絶滅の危機にあるライチョウの現状を知り、私たちは何ができるのか考えましょう。



図1.飛州志に描かれたライチョウ
(所蔵:飛騨高山まちの博物館)



図2. 飛騨騎鞍嶽雷鳥之図(所蔵:飛騨高山まちの博物館)

マイミュージアムギャラリー 第2回展示

「あそびー楽しいひとときをデザインするー」

令和5年5月27日(土)～7月2日(日)

岐阜県博物館 学芸部 浅野 伸保

令和5年度の第2回目は、大垣女子短期大学デザイン美術学科 楽しいひとときデザイン実行委員会さんによる「あそびー楽しいひとときをデザインするー」を開催します。

『楽しいひとときをデザインする』をコンセプトに、「実は100種類以上もあるトランプの世界」「岐阜にズームイン!」「壬申の乱 のぞいてみよう!! 武将のステータス」と3つのテーマで展示します。各テーマについて、親しんでいただけるように体験コーナーや、ワークショップなど、ハンドメイドによる「あそび」を準備しています。他に、卒業生紹介として、現役で活躍しているマンガ家の紹介や卒業制作記念展の選抜展を同時開催します。皆様のご来館をお待ちしております。



展示のイメージ

「葉脈標本でしおり作り」

岐阜県博物館 学芸部 武藤 由子

教育普及係は毎年、マイミュージアム係と共に県内の商業施設で様々な体験活動を行っています。今年度は新たに、葉脈標本を使ったしおり作りを体験メニューとして導入しました。

葉脈標本とはアルカリ性の薬品で葉を煮込んだ後余分な葉肉を取り除き、葉脈だけを残したものです。会場では触っても安全な状態にした葉の葉肉を、歯ブラシで取り除いてもらうところから始めます。作成した標本は台紙とともにラミネート加工をし、しおりとしてお持ち帰りいただきます。

会場では小さなお子さんから大人まで、綺麗な標本を作成しようと夢中になってブラシで葉を叩く姿が見受けられました。また、標本作りに興味を持たれた方から標本に適した葉や下処理の方法など、今までの体験活動ではあまり聞かれなかった質問も多くいただきました。

今回の葉脈標本作りでは、今までの体験活動では少なかった大人のみでの参加が多く見られ、幅広い年齢の方の知的好奇心をくすぐる体験と捉えていただけたようで大変嬉しく思いました。

友の会の皆様におかれましては、このようなワークショップを実施していることをお知り合いの方に広めていただければ幸いです。また、新たなワークショップの案がありましたら連絡ください。今後、幅広い年齢の方に楽しんでいただける体験メニューを開発、検討を重ね、生涯学習の一端を担えればと思っております。



出張けんぱく教室



葉脈標本

岐阜県博物館からのお知らせ

○令和5年度がスタートしました



9名の新しい職員を迎えました。皆さまに清流の国ぎふの自然・歴史・文化により親しみ、誇りを持っていただけるよう頑張ります。よろしくお願いします。

友の会事務局からのお知らせ

★令和5年度友の会の主な活動

- 会 議 ・10月12日(木)秋季理事会
・3月9日(土)会長・副会長会議
- 委員会 ・会報委員会 4月13日(木)
・探訪の旅委員会 8月頃、2月下旬
・七草委員会 11月下旬
- 友の会報 3回発行
・137号(6月)、138号(10月)、139号(2月)
- 博物館との共催事業
・特別行事 「七草がゆをたべよう」1月7日(日)
・けんぱく教室、わくわく体験
- 図録の刊行(3冊)
『岐阜県博物館所蔵 赤羽刀図録』
特別展『岐阜の祭り みんなのこころ粹』
特別展『出かけよう! 0→3000m
ー植物が彩る物語ー』
- 探訪の旅
春の国内探訪の旅:【中止】、
宿泊探訪の旅:「鶴丸城御楼門と神話の里高千穂」
12月5日～2泊3日
7月下旬～8月頃ご案内予定



★今年度の岐阜県博物館の催事について

予定の催事が中止・延期となることがあります。博物館HPやツイッター、電話で随時ご確認願います。